



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドウェイズ

コード番号 2489 URL <http://www.adwavs.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 岡村 陽久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当上席執行役員

(氏名) 田中 庸一

TEL 03-5331-6308

四半期報告書提出予定日 平成26年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	8,831	29.1	233	494.9	241	—	94	—
26年3月期第1四半期	6,839	52.8	39	△19.9	△8	△110.2	△18	△190.7

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 21百万円 (△73.9%) 26年3月期第1四半期 82百万円 (△60.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	2.32	2.27
26年3月期第1四半期	△0.51	—

- (注) 1. 経常利益及び四半期純利益の対前年同四半期増減率については、平成26年3月期第1四半期が経常損失及び四半期純損失のため、記載しておりません。
 2. 平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、平成26年3月期第1四半期は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	17,534	11,838	66.9	287.99
26年3月期	17,748	11,808	66.0	287.66

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 11,727百万円 26年3月期 11,714百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.65	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 平成27年3月期第2四半期末の配当については、未定とさせていただきます。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	37,000	17.4	1,000	18.0	1,000	18.9	480	△13.0	11.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	40,722,500 株	26年3月期	40,722,500 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	0 株	26年3月期	0 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	40,722,500 株	26年3月期1Q	35,977,154 株

(注) 平成25年10月1日付で当社普通株式1株につき500株の割合をもって株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本資料は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本資料の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

平成27年3月期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の連結業績予想、配当予想及び本資料に含まれる将来に関する記述は、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績予想及び配当予想に関する事項は、本資料P. 5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会の開催日及び決算説明資料の入手方法)

機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け決算説明会は、本資料を開示した同日に開催する予定であります。また、決算説明会で配布する資料は、開催日同日に当社ホームページ(<http://ir.adways.net/>)にて開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日)の当社グループにおける連結業績は以下のとおり、前年同期に対して増収、増益となりました。

[連結業績]

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成26年3月期)	当第1四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	6,839,310	8,831,036	1,991,725 (29.1%)
営業利益	39,277	233,658	194,381 (494.9%)
経常利益 又は損失(△)	△8,698	241,264	249,962 (—)
四半期純利益 又は損失(△)	△18,284	94,405	112,690 (—)

売上高は、国内及び海外の広告事業が順調に推移したことにより1,991,725千円増加し、8,831,036千円(前年同期比29.1%増)となりました。

営業利益は、当第1四半期連結累計期間の4月に新卒社員が入社したことによる人件費の増加及び本社オフィスの移転に伴う賃料の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの売上高の増加に伴い売上総利益が増加したことにより194,381千円増加し、233,658千円(前年同期比494.9%増)となりました。

経常損益及び四半期純損益は、営業利益の増加により、それぞれ241,264千円(前年同期は8,698千円の損失)及び94,405千円(前年同期は18,284千円の損失)となりました。

[報告セグメント別業績]

①広告事業

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成26年3月期)	当第1四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	5,988,549	7,513,550	1,525,000 (25.5%)
(外部売上高)	5,971,618	7,449,190	1,477,572 (24.7%)
(セグメント間売上高)	16,931	64,359	47,428 (280.1%)
セグメント利益	591,803	725,488	133,685 (22.6%)

内訳:外部売上高(広告事業)

(単位:千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成26年3月期)	当第1四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
スマートフォン向け広告	2,315,230	3,775,171	1,459,941 (63.1%)
フィーチャーフォン向け広告	823,380	281,845	△541,535 (△65.8%)
モバイル向け広告計	3,138,611	4,057,016	918,405 (29.3%)
PC向け広告	2,833,007	3,392,173	559,166 (19.7%)

広告事業は、スマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」やフィーチャーフォン向けアフィリエイト広告「Smart-C」などのモバイル向け広告とPC向けアフィリエイト広告「JANet」を中心に、インターネット上で事業展開を行う企業に対して、インターネット広告を総合的に提供しております。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のモバイル向け広告は、モバイル端末利用者のフィーチャーフォンからスマートフォンへの移行の影響により、広告主のフィーチャーフォン向け広告の出稿意欲は低下しております。一方でスマートフォン向け広告は、広告主の広告出稿意欲が高く、それに加え、アプリなどの広告掲載媒体数

が増加していることから売上高が大幅に伸長したことにより、モバイル向け広告の売上高は4,057,016千円(前年同期比29.3%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間における広告事業のPC向け広告は、金融関連企業を中心に取引が拡大したことにより売上高は3,392,173千円(前年同期比19.7%増)となりました。

この結果、広告事業の売上高は7,449,190千円(前年同期比24.7%増)、営業費用は新卒社員の入社に伴い人件費等が増加したものの、セグメント利益は725,488千円(前年同期比22.6%増)となりました。

②アプリ・メディア事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成26年3月期)	当第1四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	494,790	393,940	△100,849 (△20.4%)
(外部売上高)	458,042	383,367	△74,674 (△16.3%)
(セグメント間売上高)	36,747	10,573	△26,174 (△71.2%)
セグメント損失(△)	△115,592	△94,718	20,874 (—)

内訳：外部売上高(アプリ・メディア事業)

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成26年3月期)	当第1四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
アプリ事業	196,952	233,140	36,187 (18.4%)
メディア事業	261,089	150,227	△110,862 (△42.5%)

アプリ・メディア事業は、主に連結子会社である愛徳威軟件開発(上海)有限公司と株式会社ラビオンソーシャルにおいてスマートフォンアプリの開発・運営、連結子会社である株式会社サムライ・アドウェイズにおいてメディアの運営等を行っております。

当第1四半期連結累計期間におけるアプリ事業は、平成24年3月期の上半期にリリースした「カイクツクロニクル」等の既存のタイトルに続くヒット作を生み出すために、「古の女神と宝石の射手」等の自社グループタイトルのゲームの売上拡大に注力した結果、売上高は233,140千円(前年同期比18.4%増)となりました。

今後は、自社タイトルだけでなく、大手ゲーム会社と共同でアプリ制作を行う協業事業や当社が海外の有力アプリの翻訳などを行い、日本国内に日本版の海外の有力アプリをリリースするパブリッシング事業を軸にアプリ事業の売上高の安定化を図ります。

当第1四半期連結累計期間におけるメディア事業は、主にサムライ・アドウェイズにおいて行っているメディア事業の広告主の意向の低下により、売上高は150,227千円(前年同期比42.5%減)となりました。

この結果、アプリ・メディア事業の売上高は383,367千円(前年同期比16.3%減)、セグメント損失は94,718千円(前年同期は115,592千円の損失)となりました。

③海外事業

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成26年3月期)	当第1四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	468,623	994,807	526,184 (112.3%)
(外部売上高)	409,582	979,169	569,587 (139.1%)
(セグメント間売上高)	59,040	15,638	△43,402 (△73.5%)
セグメント損失(△)	△109,548	△1,162	108,385 (—)

海外事業は、中国・台湾・韓国・米国において、現地企業と各国における外国企業を対象として、インターネットマーケティングの総合支援サービスを提供しております。

当第1四半期連結累計期間における海外事業は、平成24年4月に提供を開始したスマートフォンアプリ向け広告「AppDriver」の中国版の売上高の増加に加え、平成24年4月に設立した台湾子会社及び平成24年10月に設立した韓国子会社において、各国における外国企業や現地企業の広告出稿の営業を強化したことにより、前年同期比で売上高は増加し、セグメント損失は減少いたしました。

この結果、海外事業の売上高は979,169千円（前年同期比139.1%増）、セグメント損失は1,162千円（前年同期は109,548千円の損失）となりました。

④その他

(単位：千円、端数切捨て)

	前第1四半期 (平成26年3月期)	当第1四半期 (平成27年3月期)	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	4,502	19,772	15,269 (339.1%)
(外部売上高)	67	19,308	19,241 (※ー)
(セグメント間売上高)	4,435	464	△3,971 (△89.5%)
セグメント損失(△)	△38,959	△69,420	△30,461 (ー)

その他は、日本及び海外における新規事業等により構成されております。

当第1四半期連結累計期間におけるその他は、新規事業の拡大により売上高は19,308千円（前年同期は67千円）と増加したものの、事業拡大に伴う費用が嵩んだため、セグメント損失は69,420千円（前年同期は38,959千円の損失）となりました。

※外部売上高の対前年同期増減率は、増加率が1,000%以上のため表記しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円、端数切捨て)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期 (平成26年6月30日)	対前期末増減額 (増減率)
資産合計	17,748,617	17,534,422	△214,195 (△1.2%)
負債合計	5,940,282	5,695,721	△244,561 (△4.1%)
純資産合計	11,808,334	11,838,700	30,366 (0.3%)

[資産合計]

- ・流動資産が前連結会計年度末より509,102千円減少し15,665,630千円となりました。主な要因は、現金及び預金が403,266千円減少したこと、及び売掛金が73,786千円減少したことによるものであります。
- ・固定資産が前連結会計年度末より294,907千円増加し1,868,791千円となりました。主な要因は、有形固定資産に含まれる建物が純額で206,109千円増加したこと、及び投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が111,039千円増加したことによるものであります。

[負債合計]

- ・流動負債は前連結会計年度末より338,197千円減少し5,587,513千円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が273,281千円減少したこと、未払法人税等が328,430千円減少したこと、及び前受金が270,820千円増加したことによるものであります。
- ・固定負債は前連結会計年度末より93,635千円増加し108,207千円となりました。主な要因は、その他に含まれる資産除去債務が88,646千円増加したことによるものであります。

[純資産合計]

- ・前連結会計年度末より30,366千円増加し11,838,700千円となりました。主な要因は、利益剰余金が94,405千円増加したこと、為替換算調整勘定が83,370千円減少したこと、新株予約権が9,887千円増加したこと、及び少数株主持分が7,275千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが事業展開を行うインターネット・モバイル関連業界は、スマートフォンの急速な普及に伴う市場の拡大やスマートフォン・タブレット端末をはじめとするインターネット利用端末の多様化を受け、今後も順調に拡大することが予測されております。これらの傾向は国内だけでなく、海外においても顕著であり、中国をはじめとするアジア諸国においてインターネット関連市場は急速に拡大しております。

当社グループは、これらの拡大が見込まれるスマートフォン関連事業及び海外事業に積極的に注力し、当連結累計期間は事業を成長させ、更なる収益力の向上を目指してまいります。

なお、平成27年3月期通期(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の連結業績予想につきましては、スマートフォン市場の継続的な拡大による国内及び海外の広告事業の拡大等により売上高は37,000百万円(前期比17.4%増)を見込んでおります。また、広告事業の売上高の増加による売上総利益の増加及び新卒等の人員増加や本店移転にともなう販管費の増加を鑑み、営業利益は1,000百万円(前期比18.0%増)、経常利益は1,000百万円(前期比18.9%増)を見込んでおります。当期純利益につきましては、平成27年3月期は本店移転にかかる特別損失を計上する見込みであること及び平成26年3月期は投資有価証券の売却による特別利益を計上したことにより、480百万円(前期比13.0%減)を見込んでおります。

(剰余金の配当予想)

配当につきましては、当社の当連結累計期間(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の業績見通し、株主の皆様への継続的な利益還元及び今後における企業価値の向上を目的とする事業展開のための所要資金等の内部留保を勘案した結果、連結当期純利益の14%を配当性向の目処とし、1株当たり1円65銭の期末配当を実施する方針といたしました。

当社の配当方針といたしましては、会計年度の通期連結業績において経常利益が1,000百万円以上となった場合、配当性向を基準に配当金額を算定しております。従って、経常利益が1,000百万円に満たない場合には、無配になる可能性があります。また当社の配当金額は、配当性向14%に基づき配当金額を算出するため、業績予想を上回った場合には変動することがあります。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,870,365	10,467,099
売掛金	4,983,692	4,909,906
たな卸資産	13,178	26,793
その他	419,479	369,021
貸倒引当金	△111,983	△107,189
流動資産合計	16,174,733	15,665,630
固定資産		
有形固定資産	209,985	411,022
無形固定資産		
のれん	78,782	72,883
その他	92,385	90,230
無形固定資産合計	171,168	163,113
投資その他の資産		
その他	1,201,114	1,303,559
貸倒引当金	△8,384	△8,904
投資その他の資産合計	1,192,730	1,294,655
固定資産合計	1,573,884	1,868,791
資産合計	17,748,617	17,534,422
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,638,321	4,365,040
未払法人税等	446,855	118,424
その他	840,534	1,104,049
流動負債合計	5,925,710	5,587,513
固定負債		
その他	14,571	108,207
固定負債合計	14,571	108,207
負債合計	5,940,282	5,695,721
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,489,910	1,489,910
資本剰余金	7,284,517	7,284,517
利益剰余金	2,548,188	2,642,593
株主資本合計	11,322,615	11,417,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27,063	29,231
為替換算調整勘定	364,701	281,331
その他の包括利益累計額合計	391,765	310,562
新株予約権	48,386	58,274
少数株主持分	45,567	52,842
純資産合計	11,808,334	11,838,700
負債純資産合計	17,748,617	17,534,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	6,839,310	8,831,036
売上原価	5,656,902	7,251,974
売上総利益	1,182,407	1,579,061
販売費及び一般管理費	1,143,129	1,345,402
営業利益	39,277	233,658
営業外収益		
受取利息	1,383	7,930
消費税等免除益	—	6,729
外国税還付金	4,929	—
その他	4,101	1,442
営業外収益合計	10,414	16,102
営業外費用		
為替差損	55,952	4,171
持分法による投資損失	1,996	1,864
その他	442	2,461
営業外費用合計	58,390	8,496
経常利益又は経常損失(△)	△8,698	241,264
特別利益		
投資有価証券売却益	63,319	—
特別利益合計	63,319	—
特別損失		
関係会社株式評価損	—	23,558
投資有価証券評価損	622	—
本社移転費用	—	8,069
特別損失合計	622	31,627
税金等調整前四半期純利益	53,998	209,636
法人税、住民税及び事業税	67,995	99,818
法人税等調整額	4,187	7,046
法人税等合計	72,183	106,865
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18,185	102,770
少数株主利益	99	8,365
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△18,284	94,405

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△18,185	102,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,006	2,167
為替換算調整勘定	93,900	△83,370
その他の包括利益合計	100,906	△81,202
四半期包括利益	82,721	21,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	81,652	14,292
少数株主に係る四半期包括利益	1,068	7,275

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に 対する売上高	5,971,618	458,042	409,582	6,839,242	67	6,839,310	—	6,839,310
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	16,931	36,747	59,040	112,720	4,435	117,155	△117,155	—
計	5,988,549	494,790	468,623	6,951,962	4,502	6,956,465	△117,155	6,839,310
セグメント利 益又は損失 (△)	591,803	△115,592	△109,548	366,662	△38,959	327,703	△288,425	39,277

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△288,532千円には、主にセグメント間取引消去△44,465千円、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用243,959千円を含んでおります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	広告事業	アプリ・ メディア 事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客に対 する売上高	7,449,190	383,367	979,169	8,811,727	19,308	8,831,036	-	8,831,036
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	64,359	10,573	15,638	90,570	464	91,035	△91,035	-
計	7,513,550	393,940	994,807	8,902,298	19,772	8,922,071	△91,035	8,831,036
セグメント利 益又は損失 (△)	725,488	△94,718	△1,162	629,607	△69,420	560,186	△326,527	233,658

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△326,527千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。